

令和8年度第1回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果(概要版)

【日 時】令和8年6月23日（火） 9時30分～11時00分

【場 所】WEST19（中央区大通西19丁目）2階 大会議室

【議 事】

1 議 題

- (1) 令和7年度札幌市食品衛生監視指導計画の実施結果について
- (2) 第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の令和7年度実施結果(案)について
- (3) 「食のまち・さっぽろフェスト in チ・カ・ホ2026」の実施結果について
- (4) その他

2 質疑応答の内容（○委員、●事務局）

- (1) 令和7年度札幌市食品衛生監視指導計画の実施結果について

内部点検の実施体制	○衛生研究所のGLP外部認証を受けていないとのことだが、内部点検の「信頼性確保部門」とは具体的にどのような部門が検査・評価をしたのか。（田牧委員） ●食の安全推進課の食品安全対策担当係長が実務を担い、市場検査施設と衛生研究所に行き、検査の正確性や記録・管理状況をチェックリストを用いて点検し、不備があれば改善を求めている。（寺島課長）
アレルギー相談の動向	○市民相談1,134件の中にアレルギーに関する相談（ナッツ類等）は含まれているか。増加傾向はあるか。（田牧委員） ●症状が出た場合は「有症」、表示不備なら「表示」の項目に含まれる。アレルゲン個別の統計は取っていないが、コンスタントに年間数件発生しており、急に増えている感覚はない。（寺島課長）
立入検査件数の増減	○生食用鮮魚介類や食肉取扱施設への対策で、令和6年度と比べて立入検査の延べ数が落ちている理由は何か。（阿部委員） （※）本会議後に文書通知件数及び立入検査実施件数に誤りがあったことが判明しましたので、以下のとおり訂正いたします。 生食用鮮魚介類取扱施設へは令和7年度は3,154施設（前年度2,612施設）に文書通知、延べ613回（前年度615回）の立入検査実施。食肉取扱施設へは令和7年度は3,417施設（前年度3,216施設）に文書を発送、延べ561回（前年度586回）の立入検査実施。 ●広く周知を図る文書での指導か、施設に応じた立入指導か、所管課がマンパワー等を考慮して判断している。（寺島課長）
前年度数値の明記	○令和6年度の数字との比較が口頭のみで分かりにくかった。今後の課題として資料に明記してほしい。（片山委員） ●昨年度の数値を資料にどこまで入れ込むかについては、今後検討させていただく。（寺島課長）
業界・企業群への指導	○違反が多い事例について、個別企業への指導だけでなく、設備や業種が共通する業界全体へ向けた指導は行っていないのか。（片貝委員） ●市場では水産の卸や組合へ状況に応じて違反情報を報告・提供し

	ている。飲食店は業態や設備が多様なため個別指導が基本だが、食中毒予防等の共通事項は飲食店というくくりで文書送付している。 (山本課長・寺島課長)
指導後の改善確認等	○指導後に改善されたかどうかの後追いはしているのか。また、立入検査施設の選定基準は何か。注意喚起として違反の多い事例を公表できないか。(中岡委員) ●指導後は必ず改善確認を実施している。立入先は重点監視対象施設の計画や許可更新施設、抜き打ちなどを組み合わせて選定している。違反事例の公表は、施設が特定されない範囲での記録・計上にとどめている。(寺島課長)
健康食品製造施設の監視	○健康食品の製造施設に対し16件ほど立入検査を実施したとのことだが、紅麹問題を受けたものか。また違反はあったか。(高林委員) ●紅麹問題を受け、消費者庁と同行してHACCPに沿った衛生管理が適切に行われているか立入検査を行った。事故につながるような大きな違反の報告は受けていない。(寺島課長)
健康被害時の相談先	○高齢者が健康食品等を利用し体調不良を訴えることがあるが、どこに相談していいかわからない。引き続き立入検査をお願いしたい。(狩野委員) ●体調不良時はまず医療機関を受診していただきたい。医師の診断等で健康食品等が原因と疑われる場合は、保健所へご連絡いただければ対応する。(寺島課長)
さっぽろHACCPの減少	○さっぽろHACCPの認証施設が減少した理由は何か。また、導入意識向上に向けてどのような取組を行っていくか。(高野委員) ●HACCPが義務化されたことで、独自の認証制度の価値がぼやけてきていると感じる。HP等で紹介しているが、今後伸ばしていけるのかは課題である。(寺島課長)
口頭指導の記録と確認	○指導件数に口頭指導が含まれるが、数年後に立入った際にも同じ指摘が繰り返されていないか確認できるよう記録は残しているか。(橋本委員) ●口頭指導の内容も施設の記録に残しており、次回立入時には過去の指導内容を必ず確認した上で施設に伺い、現場での改善状況を確認している。(寺島課長)
おもてなしの店の普及	○アレルギー表示等を行う「食の安全・安心おもてなしの店」をさらに増やすためのアプローチや前年度の取組を教えてほしい。(手嶋委員) ●雑誌の取材を通じたPRなどを行っている。登録数を増やすための工夫や、表示実施店を広く周知する仕組みについては引き続き検討・取組を進めていく。(寺島課長)

(2) 第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の令和7年度実施結果（案）について

学習事業の落選者対策	○安全性に関する学習事業（バスツアー等）で落選者が多く出ている。開催回数を増やすなどの対策は考えているか。（正木委員） ●マンパワーや予算（バスチャーター代等）の関係で回数を増やすのは厳しい。実施の様子を動画にして市の公式YouTubeで公開しているので、そちらも参照していただきたい。（寺島課長）
------------	---

(3) 「食のまち・さっぽろフェスト in ち・カ・ホ2026」の実施結果について

アンケート回答数と来場者	○アンケートに回答した人数と、イベントの来場者数を教えてほしい。来場者数は資料に明記されているか。（高野委員・片山委員） ●アンケートはおよそ730名から回答をいただいた。来場者数は資料2の5ページの実績欄に「延べ来場者数4,623人」と記載している。（寺島課長）
--------------	--

(4) その他

パブリックコメント	○令和7年度計画策定前のパブリックコメントは何件くらいあったか。参考になるものはあったか。（田牧委員） ●件数は3、4件と記憶しているが、計画内容を修正するような内容ではなかったと記憶している。（寺島課長）
-----------	---